

2022年度 0時間目の記録

2022年5月23日(月)~5月29日(日)

栽培中の植物

- ジニア
- ハツカダイコン
- コリウス
- センニチコウ
- 四つ葉のクローバー
(後から種子をもらった)
- ズッキーニ
- シソ
- マリーゴールド
- バジル
- コスモス
- セントーレア(宿根ヤグルマギク)
- キュウリ
- トマト
- カボチャ
- トウガラシ
- レタス
- ナス

栽培管理内容

日時	天気	気温(℃)	管理・植物の様子・指導
		最高(℃)	
		最低(℃)	
5/23(月) 8:15	晴れ	気温(23℃)	【管理・植物の様子】 <ul style="list-style-type: none"> ● 温室内のポット苗すべてに灌水 ● アブラムシ駆除 ● ジニア苗の根の表面が見えていたので軽く覆土 ● 分区園のトマト誘引・アブラムシ駆除 ● 08:30 遮光カーテン閉 (一日中晴天で気温が上がる予報のため)
		最高(31℃)	
		最低(18℃)	
5/24(火) 8:15	晴れ	気温(29℃)	【管理・植物の様子】 <ul style="list-style-type: none"> ● 温室内のポット苗すべてに灌水 ● ペチュニアとマリーゴールドのポット苗の生育が盛んで、花も多く付き出したので、さらにスペーシング ● 四つ葉のクローバーは本葉が数枚ずつ展葉しているが、未だ四つ葉は見られず、三つ葉のみ ● 分区園のトマト誘引 ● 分区園のトマトに、主枝が欠如している苗あり。今後は最上部の脇芽を主枝として伸ばし、誘引していく 【指導内容】 ・温室のコリウスのポット苗の葉に斑点が見られる事について 葉裏を確認し、かすり状に色が抜けた状態 スリップス(あざみうま)の食害の可能性を疑う 本来であればオルトランを用いて駆除を図りたいところではあるが、花壇への定植直前である事と、新芽への食害が少ない点から、このまま様子を見て、定植時にオルトランを使用する事とする(写真①)
		最高(30℃)	
		最低(16℃)	

		気温(28℃)	【管理・植物の様子】 <ul style="list-style-type: none"> ● 08:00 遮光カーテン閉 (一日中晴天で気温が上がる予報のため) ● 温室内のポット苗すべてに灌水 ● 17:15 遮光カーテン開 ● 分区園のズッキーニの葉に白い斑点を発見 検索したところ病気ではなく、ズッキーニ特有の葉の模様である事が判明(写真②) 【指導内容】 <園芸療法ガーデンのチューブ灌水について> <ul style="list-style-type: none"> *点滴灌水方式でチューブの下部(土に触れる側)に小さい穴が開いている。上部に穴があると、土ではなく植物自体が濡れる事になり効率が悪い *農業用水(エントランス花壇のみ水道水)が使用されているので水圧の変動に注意する(水田に引水する時等は水圧が下がる事あり)。水圧が強すぎるとチューブが抜ける等破損の要因となる。水を出す時は、一旦蛇口の水栓を約45~60度回転(レイドベッドと南側花壇の水栓はコック式:レイズドベッド約45度/南側花壇45度)させ、強い水量でチューブ全体に水を行き渡らせる。水栓を開いた時に、チューブの穴から空気の抜ける音が確認出来る。その音が聞こえなくなり、チューブ全体から水がポタポタ出始めると少し水栓を閉めて流水量を減らす(30度くらいが目安) *朝にチューブ灌水を始めた場合、正午頃に土と植物の状態を確認し、さらに灌水が必要であれば、夕刻まで灌水を続ける *チューブの破損箇所を発見したら、直ちに先生に報告し補修(メールは写真添付。破損個所に支柱など目印を立てておく。応急処置としてはビニルテープを巻く) *ガーデンの水やりは週一目安(天候や状態による) <ul style="list-style-type: none"> ・土の状態を確認すること(土の中が乾いていないか) ・葉や花が萎れていないか <p>※特に定植直後はこまめに灌水する。 根の活着(定植後目安1週間ほど)が確認できたら、乾いてからしっかり灌水する。</p> <ポット苗の花壇への定植について>
		最高(33℃)	
		最低(18℃)	

5/25(水)
8:00

晴れ

			<p>*花苗の定植のタイミングは、ルートバンドが何重にも出来る前で、根鉢が崩れない程度に根が張っている状態がベストである。ルートバンドが出来てしまった場合は、少しちぎって定植する。ちぎる事で側根が出やすくなり、活着しやすい。順調に活着すると、一週間で株も葉も一回り大きくなるので、定植後はこまめに様子を観察し、活着しているか否かを確認する</p>
5/26(木) 8:00	曇り	気温(24℃) 最高(30℃) 最低(17℃)	<p>【管理・植物の様子】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 温室内のポット苗すべてに灌水 ● トレニア初開花 ● 四つ葉のクローバーの本葉に4枚の葉が確認できるものあり ● 午後から雨予報のため、遮光カーテンは開のまま
5/27(金) 8:00	晴れ	気温(24℃) 最高(30℃) 最低(17℃)	<p>【管理・植物の様子】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 温室内のポット苗すべてに灌水 ● サルピアコクネシア・サクラプルコ摘花 ● 08:00 遮光カーテン閉 (一日中晴天で気温が上がる予報のため) ● 17:30 遮光カーテン開 ● トマト芽かきと伸びた主枝の誘引 ● 夕方に元気のなかったマリーゴールドに灌水し、根が表面に見えていたので、根元に覆土 ● カボチャの苗が枯れているのを発見 26日の夜半の強風で、苗が根元から回転し、折れてしまったのだと思われる(写真③) <p>【指導内容】</p> <p>樹木の剪定の基本</p> <p>1. 剪定の仕方…切り戻し剪定と間引き剪定がある</p> <p>切り戻し剪定…芽摘みと同じ原理 枝の先端から切り戻し、側枝、わき芽、不定芽を伸ばし、枚数を増やす</p> <p>間引き剪定…間引きと同じ原理 強い枝、忌み枝を間引く。ただし、忌み枝の中にも、必要な枝があるので、必ず確認すること (必要な枝とは、その枝を切ると枝がなくなり、水の上りが悪くなるような場所に生えている枝、いずれ大きくなったらその枝を残し、その先まで切り詰めようと思っている枝のこと)</p>

			<p>2. 枝の強さの考え方・水道管と同じ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・太い水道管は多くの水が流れ、水圧が高い →太い枝は多くの水を吸い上げて、 新芽を多く出す(=強い枝) ・細い管は水圧が弱い →細い枝は、水の吸い上げが弱く、太い枝に負けて 枯れやすい <p>※強い枝とは、「上・長・太」の漢字がつく枝である</p> <ul style="list-style-type: none"> 上向き・・・頂芽優勢になりやすい 上部・・・下部に比べて優勢 長い・・・葉も多いことが多い 太い・・・養分を蓄えていてより太りやすい <p>これらは、元から切る(間引く)か、葉数が少なくなる場所 や小さな枝が出ている所の上まで切り戻す</p> <p>3. 生垣(イヌマキ)の剪定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 樹木全体のバランスをとる(下部は弱いから強くなるよう、 上部は強いから弱くするように)→横からみて台形 ・ 日陰の枝、下部の枝、細い枝などは、樹勢が強まるよう、葉 を残す(刈り込まないこともあり) ・ 日向の枝、上部の枝、太い枝は樹勢が弱まるよう、間引く か、強く刈り込む(葉数を減らす) <p>4. 刈り込み時期</p> <p>花芽がつく樹木を剪定する場合は、花芽がつく時期を確認 し、花芽形成前の剪定が必要 (例えば、春から開花する樹の多くは、7月以降の夏季に花芽 を形成するため、剪定は6月前半までに済ませる。例、ツツ ジ)</p>
<p>5/28(土) 8:30</p>	<p>晴れ</p>	<p>気温(27℃) 最高(29℃) 最低(17℃)</p>	<p>【管理・植物の様子】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 温室内のポット苗すべてに灌水 ● ナスタチウムのつぼみ発見 ● 08:30 遮光カーテン閉 ● 17:30 遮光カーテン開 ● 分区園にて <ul style="list-style-type: none"> ・ ピーマン、トウガラシに付いていた虫を調べたところホオズキカメムシではないかと思われる。温室に保管している農薬の効能を確認したところ、カメムシの表記が無く、農薬を使用しない捕殺方法を今後考案 ・ ナスの一番花確認。そろそろ3本仕立てにするための支

			<p>柱の準備が必要だと思われる</p> <ul style="list-style-type: none"> キュウリの下部の葉にうどん粉病を見つけたので、症状のひどい葉は除去し、症状の軽い葉はロハピ噴霧
5/29(日) 8:30	晴れ	気温(27℃)	<p>【管理・植物の様子】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 温室のポット苗すべて灌水 ● 08:30 遮光カーテン閉 ● マリーゴールドのポット苗の一部の葉先が茶色く変色している。ネット検索したところ、水のやりすぎ(根腐れ)が一因と記されていた。(←ポットから出して、土のおいと、根の状態を見る。根腐れの場合は土がくさく、健康な時には白い根が褐色や黒っぽい色をしている) マリーゴールドの原産地は中南米なので、乾燥を好むのかもしれない。今後は温室のポット苗すべてを一律に灌水せず、土の状態をよく観察しながら、灌水するのが望ましいと思われる(写真④)(←水のやりすぎの可能性の他に、水のやり忘れて葉の縁(根から一番遠い所)が傷んだ可能性もあります) <p>(参考) 紫に変色・・・立ち枯れ病 or 肥料の濃度が高い 茶に変色・・・水分不足 or 水分過多</p> <ul style="list-style-type: none"> ● バジルのポット苗の摘心 ● 分区園にて <ul style="list-style-type: none"> ・ ナスの葉がスプーン状にそっていたので、水切れだと判断し灌水(←よい判断)。トマト、キュウリ、カボチャ、レタスも葉の状態が乾燥していると判断したので灌水(写真⑤) ・ ピーマン、トウガラシにいたホオズキカメムシの捕殺の為、ペットボトルでカメムシホイホイ作成。割りばしで摘んでカメムシホイホイに約40匹(そのうちナスに2匹)捕獲。捕獲後、水を入れて捕殺(写真⑥) ・ ナスの葉に無数の穴を発見(写真⑦) テントウムシダマシ or ヨトウムシか? ・ キュウリの茎が割れているのを発見(写真⑧) つる割れ病か?
		最高(29℃)	
		最低(17℃)	

(写真は次のページ)

写真



写真① コリウスの葉の斑点



写真② ズッキーニの葉模様



写真③ 枯れたカボチャ



写真④ マリーゴールドの葉先の変色



写真⑤ スプーン状のナスの葉



写真⑥ ホオズキカメムシ捕殺

